

2025年1月15日

各 位

会 社 名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証プライム市場)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者名	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	執行役員広報・IR担当 掛見 卓也
TEL	(077) 565-6970
URL	https://www.takara-bio.co.jp/

**Curio Bioscience, Inc. の株式の取得 (子会社化) に係る
買収合意契約締結に関するお知らせ**

タカラバイオ株式会社の100%子会社である Takara Bio USA Holdings, Inc. (以下、TBUSH 社) は、本日、米国の Curio Bioscience, Inc. (以下、Curio 社) の株式を取得することを決定し、買収合意契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、アカデミアや企業のバイオテクノロジー研究者向けに研究用試薬、理化学機器、受託サービスを提供しております。中でも、次世代シーケンシング (以下、NGS) 関連試薬の製品開発及び販売活動に注力することにより、近年は米国を中心に売上規模も拡大しています。NGS 分野は技術の進歩が日進月歩であり、NGS 市場の成長は、単純な NGS 解析からシングルセル解析、さらには空間トランスクリプトーム解析 (以下、空間解析) へとシフトしていくと予測されています。当社グループにおいても、2017年にシングルセル解析装置を発売、2023年には空間解析の受託解析サービスを開始するなど、NGS 市場におけるトレンドをとらえた事業展開を図っております。

Curio 社は、先進的な空間解析用試薬を開発する米国のベンチャー企業であり、独自技術である DNA バーコードビーズを用いた高密度・高解像度な空間解析を可能とする試薬を提供しています。

今般、Curio 社を当社グループの一員とし、Curio 社の空間解析の基本技術と当社グループが培ってきた遺伝子工学技術・遺伝子解析技術とを組み合わせることで、高いシナジー効果を創出してまいります。具体的には、様々なシングルセル解析装置等に適合する汎用試薬の開発、Curio 社の製品と当社製品とを組み合わせることによる高品質製品の開発と競合製品との差別化、Curio 社の製品を用いた空間解析受託サービスの拡充などを推進してまいります。

当社グループは、今後も医療・ライフサイエンス分野において、革新的な技術開発に基づく製品・サービスを提供することにより、人々の健康に貢献してまいります。

2. 異動する子会社（Curio Bioscience, Inc.）の概要

(1) 名 称	Curio Bioscience, Inc.			
(2) 所 在 地	4030 Fabian Way, Palo Alto, CA 94303 United States			
(3) 代表者の役職・氏名	Stephen Fodor, Co-founder & CEO			
(4) 事 業 内 容	空間解析用研究試薬の開発・製造・販売			
(5) 資 本 金	4,492 千ドル (705 百万円) (注1)			
(6) 設 立 年 月 日	2021年1月29日			
(7) 大株主及び持株比率	個人株主1名 28.17% 他			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (注1)				
	決算期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
純 資 産		1,821 千ドル 286 百万円	455 千ドル 71 百万円	△7,660 千ドル △1,202 百万円
総 資 産		2,081 千ドル 326 百万円	1,828 千ドル 287 百万円	6,584 千ドル 1,033 百万円
売 上 高		— 千ドル — 百万円	1,859 千ドル 292 百万円	4,163 千ドル 653 百万円
営 業 利 益		△863 千ドル △135 百万円	△3,663 千ドル △575 百万円	△5,767 千ドル △905 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益		△924 千ドル △145 百万円	△3,896 千ドル △611 百万円	△7,196 千ドル △1,129 百万円

(注1) 1ドル157円で換算しております。

3. 株式取得の相手先の概要

本件の実施により、発行済株式総数の100%をCurio社の既存株主から取得しますが、詳細は非開示とさせていただきます。なお、当社との間に資本関係、人的関係、取引関係等はありません。また、当社の関連当事者には該当しません。

4. 取得価額及び取得前後の議決権所有割合の状況

(1) 異動前の議決権所有割合	0%
(2) 取 得 価 額	買収合意契約締結時に40.5百万ドル(6,358百万円)を支払う。(注2)
(3) 異動後の議決権所有割合	100% (予定) (注3)

(注2) 上記取得価額のほか、総額150百万ドル(23,550百万円)を上限として、複数の開発マイルストーンおよび売上マイルストーンの達成時に対価を支払う。

(注3) 本株式取得は、TBUSH社が本株式取得のために設立した特定目的会社を、Curio社を存続会社とする形で同社に合併されることで実施されます。

5. 日程

(1) 契約締結日	2025年1月15日
(2) 株式譲渡実行日 (クロージング日)	2025年1月15日

6. 今後の見通し

本件取引による2025年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。今後新たな開示の必要性が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

(参考)

1. TBUSH社の概要

(1) 名称	Takara Bio USA Holdings, Inc.
(2) 所在地	2560 Orchard Parkway, San Jose, CA 95131 USA
(3) 代表者の役職・氏名	Chairman 宮村 毅
(4) 事業内容	子会社の管理
(5) 設立年月日	2005年7月

2. タカラバイオ株式会社 2025年3月期連結業績予想(2024年5月10日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
当期連結業績予想 (2025年3月期)	48,900	5,000	5,200	3,400
前期連結実績 (2024年3月期)	43,505	3,003	3,405	1,480

3. 語句説明

(1) 次世代シーケンシング (NGS)

最新の塩基配列解析法で、数百から数億個の塩基配列データを並列に大量取得します。次世代シーケンシングにより、迅速で低コストでの塩基配列解析が可能となり、多くの遺伝子解析の場面で使用されるようになっていきます。次世代シーケンシング法に基づく解析装置を次世代シーケンサーと言います。

(2) シングルセル解析

1細胞レベルでゲノム解析やRNA解析を行うことで、細胞集団の平均的な解析ではなく個々の細胞の解析をすることが可能になる技術です。再生医療用細胞の品質評価や疾患メカニズムの解明に用いられています。

(3) 空間トランスクリプトーム解析 (空間解析)

遺伝子が組織中のどの細胞で発現していたかという情報 (位置情報) を保持しながら高い分解能で網羅的に解析する技術です。

(4) DNA バーコードビーズ

直径約 $10\mu\text{m}$ 程度の微小なビーズに、特殊な塩基配列 (以下、バーコード) をもった DNA を結合させます。バーコードはそれぞれのビーズごとに異なるパターンとなっており、それぞれが区別可能です。このビーズを用いることにより、各細胞の位置情報を決定します。